

品川区における 目黒川水質改善の取り組み

令和8年6月

品川区防災まちづくり部
河川下水道課

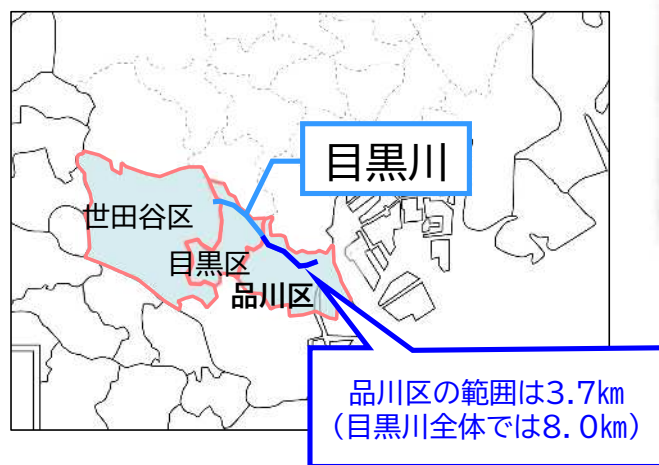


1

目黒川の概要

目黒川は烏山川と北沢川が合流する世田谷区池尻三丁目地先を上流端とし、目黒区と品川区を東流しながら東京湾に注ぐ河川延長8.0キロメートルの二級河川です。品川区では、川の両岸に桜を植えており、花の咲く時期には、多くの人が船からの眺めを楽しんでいます。

品川区内の目黒川は、潮の満ち引きの影響により塩水が遡上する「感潮区間」であり、さらに川底の傾きがほとんどない区間にあたるため、川の水の流れが乏しく、停滞しやすい特徴があります。



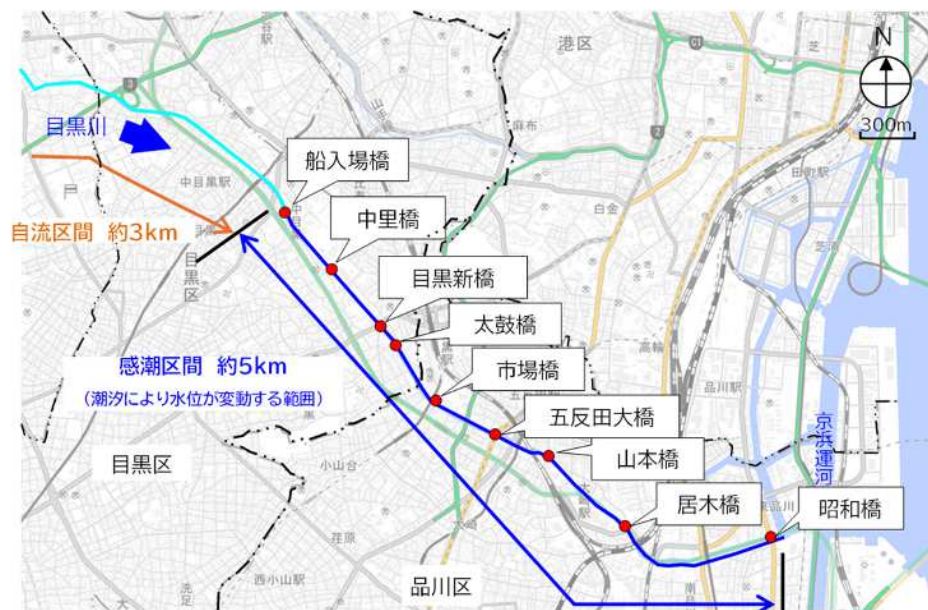
目黒川位置図



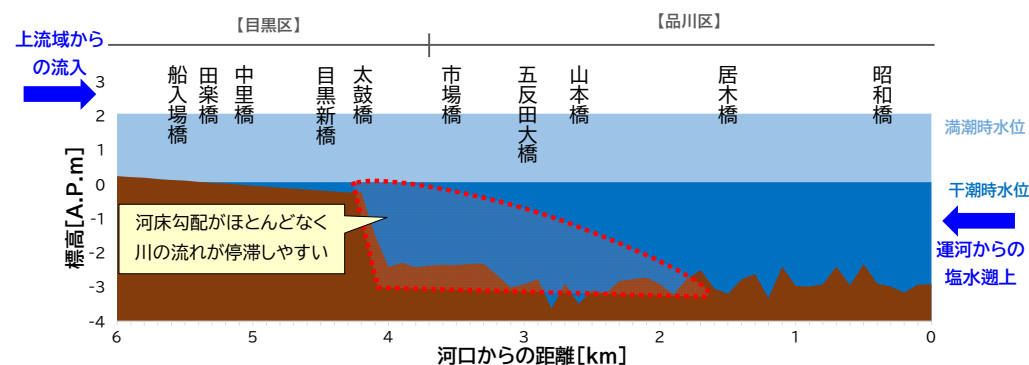
観光船が行き交う春の目黒川



目黒川の河口部



目黒川の河道特性

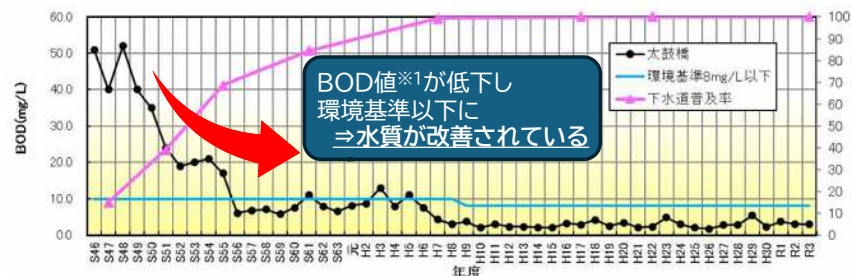


目黒川の河床縦断面図

2

目黒川の水環境の現状

目黒川の水質は、昭和40年代まではかなり汚れていました。昭和40年代から昭和60年代にかけての下水道の普及に伴い、大幅に改善されています。



出典「目黒川流域河川整備計画」(令和6年3月、東京都)

図 下水道普及率と目黒川(太鼓橋)の平常時水質の経年的推移

※1 BOD値:水中のよごれ(有機物)の量

しかし、現在も、水温が上がる季節の雨が降った後などには、『悪臭』、『白濁化※2』、『スカム※3』の発生が見られます。



白濁化の発生状況
(令和6年7月 市場橋付近)



スカムの発生状況
(令和6年7月 市場橋付近)

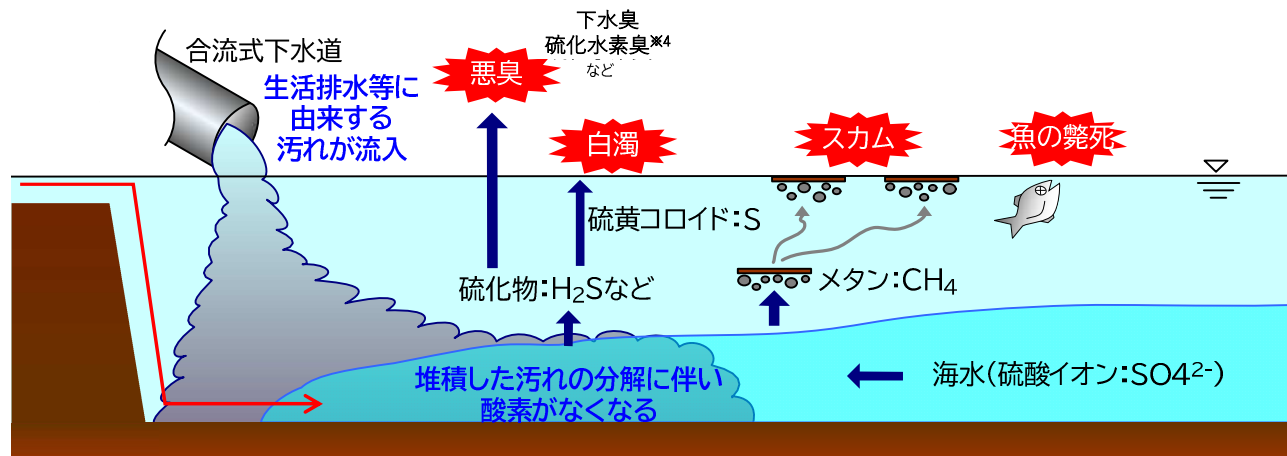
※2 白濁化:硫化物によって水面が白く濁る現象

※3 スカム:川底にたまった汚れが水面に浮きあがる現象

なぜ、目黒川では水環境問題が発生するのか

これまでのモニタリングから、水環境問題は以下のメカニズムで発生していると考えています

- ① 雨が降ったとき、下水道から、雨水と一緒に「生活排水等に由来する汚れ」が川に流れ込みます。
- ② 川に溜まった汚れによって、川の酸素が消費され、川底は「酸素がない状態」になります。
- ③ そこに東京湾からの海水が上ってきて、川の中の汚れと反応し、悪臭などの原因物質である「硫化物」を生じます。
- ④ 硫化物が空気中に上がってくことで、悪臭(腐った卵のようなにおい)として感じます。



太鼓橋下流部の段差部に
汚れが溜まりやすい

※4 硫化水素臭:腐った卵のようなにおい

3

区が取り組む水質改善

(1) 障害物撤去

川の流れを良くするため、川底に溜まった汚れを除去したり、ゴミを撤去したりしています。



撤去の実施状況



(2) 水の流れの確保

目黒川の少ない水量を補うため、東京都の水再生センターで処理した再生水を送水しています(1日あたり約3万立方メートル)。



御成橋からの再生水散水の様子



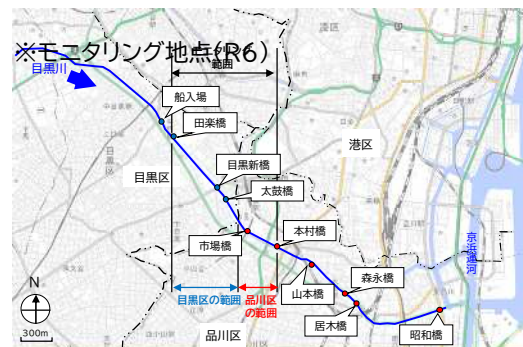
城南河川清流復活事業の概要
出典: 東京都下水道局HP

(3) 浚渫や水環境改善の要望活動

関係区と連携し、東京都に対して水質改善に向けた要望活動を毎年実施しています。

区では、目黒川の水質改善などを目的として様々な取り組みを推進しています。

(4) 継続的な水質モニタリング



毎年春から秋にかけて、目黒川の水質や悪臭の状況についてモニタリングしています。



市場橋に設置した臭気計
および水面定点カメラ

(5) 水質改善の啓発活動

啓発活動の一環として、小学生親子を対象とし、目黒川の水質や水質浄化の取り組みを学ぶ河川環境学習を実施しています。



環境学習の実施状況



船による目黒川見学の様子

(6) 他区との連携(検討会の参加)

水質浄化対策を推進していくため、目黒区を中心として年1回開催されている「目黒川水質浄化対策検討会」に沿川自治体として参加しています。

4 東京都や沿川自治体が取り組む水質改善

1. 河川清掃(東京都建設局)

川をきれいに保つため、水面に浮遊するゴミなどを定期的(週に1回)に収集しています。

出典)東京都ホームページ



2. 河床浚渫(東京都建設局)

川底にたまった汚れを除去しています。

定期的(5～6年に1回)に実施しています。



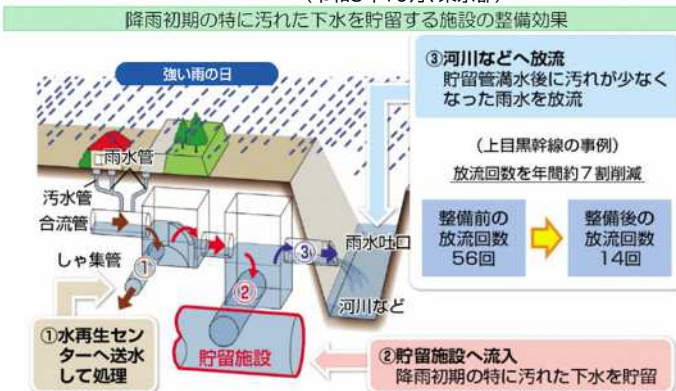
3. 初期越流水の貯留施設(東京都下水道局)

雨の降り始めに河川へ流れ込む汚れた污水を貯め込み、河川へ流れないようにします。

令和2年度までに2施設が整備・部分的に運用されており、今後さらなる延伸を予定しています。

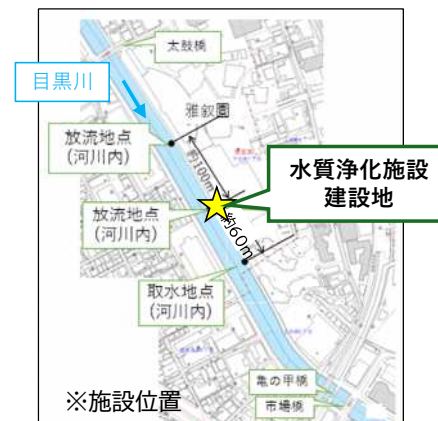
※施設イメージ

出典)「東京都下水道事業経営レポート2021」(令和3年10月、東京都)



4. 水質浄化施設(目黒区)

酸素がない川底の水へ酸素を供給し、水質を改善しています。
(目黒区により、令和6年度から実施しています。)



水質改善の目標

品川区では、目黒区、東京都と一緒に改善目標を設定し、対策に取り組んでいます。
現在、短期ビジョンは達成済みの状況にあり、中期ビジョン達成に向けて取り組んでいます。
主な対策の取り組み内容には品川区以外の取り組みも含まれます。

※基準年度は令和元年度

短期ビジョン (概ね5年後)	悪臭が軽減された目黒川	
目標値 悪臭:硫化水素濃度0.2ppm以下 (達成率50%)	主な対策 高濃度酸素溶解水供給施設の整備 初期越流水貯留施設の整備 部分分流化の推進 効果的な浚渫に必要なモニタリングの実施	
中期ビジョン (概ね10年後)	悪臭・白濁化・スカムが大幅に軽減された目黒川	
目標値 悪臭:硫化水素濃度0.2ppm以下 白濁化:レベル1以下 スカム:レベル2以下	主な対策 初期越流水貯留施設の整備(機能拡大) 効果的な浚渫の実施 部分分流化の推進	
長期ビジョン	川辺で憩える親しみのある目黒川	
目標値 悪臭:硫化水素濃度0.06ppm以下 白濁化:レベル1以下 スカム:レベル2以下	主な対策 今後継続して実施するモニタリング結果を踏まえた追加対策の検討、実施	

目標のレベルについて

悪臭の目標値

臭気強度※3	においの程度	大気中の硫化水素濃度
2.5	(2と3の間)	0.02ppm
3	楽に感知できるにおい	0.06ppm
3.5	(3と4の間)	0.2ppm
4	強いにおい	0.7ppm

スカムの目標値



白濁化の目標値

